

シカ捕獲、植生保護

「過駆除にならない施策必要」

調整は詳細なモニタリングを行い、過駆除に
つながらない厳密な施
策が必要」と話を進め
た。

16LCを代表し、天
城山環境保全・地域活
性化委員長の望月良和
さんは13年目を迎えた
保全活動に触れ「有意
義な講演会にしたい。
今後も協力してほしい」と呼びかけた。

クナゲ、天城アマチャ
など希少な固有種が
見られる天城山系の
クナゲ、天城アマチャ
素晴らしさを強調し
た。その上で「植生保
護のため、シカの頭数

伊豆地区 16LC 天城山系守る講演

伊豆地区の16クラブが所属するライ
オンズクラブ（LC）国際協会334
LC地区4R1Z・2Zは21日、天城
山系の環境を守ることを目的とした講
演会を伊豆市民文化ホールで開いた。
関係者約50人が出席して専門家の講
話に耳を傾け、シカによる食害や今後
の課題について考えた。

（伊豆日日新聞 佐々木誠一）



天城山系の生態系につ
いて講話する山口さん
＝伊豆市民文化ホール

県自然保護課主査の
渡辺大介さんが「伊豆
地域におけるニホンジ
カ捕獲の取り組み」、
本紙に「伊豆の花便り」
を連載中の環境カウ
ンセラーで、天城のブナ
と語る会代表の山口康
裕さんが「天城山の森
林生態系の将来像を展
望する」をテーマに講
話した。

渡辺さんは、伊豆地
域のニホンジカ生息頭
数がピーク時の6割ほ
どに減少している一
方、警戒心が強まり生
息域が奥山に移動し、
捕獲が困難になってい
る現況などを報告し
た。

山口さんは天城シャ